

平成28年度

群馬県立県民健康科学大学 看護学部

社会人特別選抜試験問題

小 論 文

群馬県立県民健康科学大学

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

続・やばい＝すばらしい？

先週に続き、よい意味でも使われる若者の「やばい」という言葉を取り上げます。

東京・渋谷で10〜20代の110人に聞いたところ、「何でも『やばい』。使いまくり」（高校1年女子）など、9割以上が肯定・否定の両面で「やばい」を用いると答えました。「とりあえず心が動いたら『やばい』」（高3女子）、「テンションが高まると出る」（中学3年女子）と、よしあしより心の動きを重視する人も多く、「悪い意味では使わない」（高2男子）という声もありました。

会話中に意味が通じないことはないか尋ねましたが「表情や言い方で分かる」（高2女子）、「相手の性格で判断する」（大学1年男子）など、あまり気にしていない様子でした。

「やばい」の用法に関する研究がある岐阜大の洞澤伸教授は「若者にとっては意味があいまいであるからこそ楽しい」と見ます。「やばい」で心の動きを相手に知らせ、察してもらってその気持ちを共有すること。このことで会話が盛り上がり、仲間意識も高まる。大人が嫌悪感を持つのは、従来の用法ではないこと。他に「若者が仲間内だけで盛り上がる雰囲気があるから」と洞澤教授。「使う場面と相手を考えて」と注意を促します。

大阪教育大の井上博文教授も「『やばい』のみで終わらせず、続く言葉も大切に」。渋谷でも「やばい」をLINEなど文字だけで目にするという意味を取り損なうことがあるとの声があり、不便さも感じているようです。

ところで渋谷では、代わりの言葉がないかも尋ねましたが、多くが答えに窮し、「やばい」の浸透度の高さを感じました。一方、「最近は『つらい』『しんどい』を使う」（高3女子）との新種？にも出くわしました。「つらくなるほど心が揺さぶられる」ということのようにです。周りとは違う表現を求めているのが若者言葉。その最前線の一端を見た気がしました。（広瀬集）

ことばの広場 校閲センターから（二〇一五年八月六日 朝日新聞 朝刊 一五ページ）
（承諾書番号 A15-1953 ※朝日新聞社に無断で転載することを禁止します）

問一 傍線「若者にとっては意味があいまいであるからこそ楽しい」のはなぜか。五〇字以内で述べなさい。

問二 あなたの体験を紹介しながら、「やばい＝すばらしい」というような用法が生まれた理由について、あなたの考えを四〇〇字以内で述べなさい。

群馬県立県民健康科学大学

看護学部看護学科

平成28年度 社会人特別選抜試験

小論文試験問題 2

次の英文を読んで各問に日本語で答えなさい。

① Unsafe food poses global health threats, endangering everyone. Infants, young children, pregnant women, the elderly and those with an underlying illness are particularly vulnerable.

Foodborne and waterborne diarrhoeal disease kill an estimated 2 million people annually, including many children and particularly in developing countries. Unsafe food creates a vicious cycle of diarrhoea and malnutrition, threatening the nutritional status of the most vulnerable. Where food supplies are insecure, people tend to shift to less healthy diets and consume more “unsafe foods” – in which chemical, microbiological and other hazards pose health risks.

② Governments should make food safety a public health priority, as they play a pivotal role in developing policies and regulatory frameworks, establishing and implementing effective food safety systems that ensure that food producers and suppliers along the whole food chain operate responsibly and supply safe food to consumers.

Food can become contaminated at any point of production and distribution, and the primary responsibility lies with food producers. Yet a large proportion of foodborne disease incidents are caused by foods improperly prepared or mishandled at home, in food service establishments or markets. Not all food handlers and consumers understand the roles they must play, such as adopting basic hygienic practices when buying, selling and preparing food to protect their health and that of the wider community. (後略)

注) foodborne : 食物媒介性の

出典 : World Health Organization: Fact sheet N°399, Nov 2014, Food safety: a public health priority

<http://www.who.int/mediacentre/factsheets/fs399/en/> (2015.9.11 確認)

問 1 下線部①により生じる問題を記述しなさい。(横書き・80字以内)

問 2 下線部①を摂取しがちになる理由を記述しなさい。(横書き・80字以内)

問 3 下線部②に関して本文の内容をふまえてあなたの意見を述べなさい。(横書き・200字以内)

小論文試験問題一 解答用紙

受験番号
氏名

問一

得点

群馬県立県民健康科学大学
看護学部看護学科
平成28年度 社会人特別選抜試験
小論文試験問題2 解答用紙

受験番号	氏名

問1

80

問2

80

問3

100

200

得点

注 意 事 項

- 1 問題用紙は表紙を含めて3枚、解答用紙3枚、下書き用紙2枚、裏表紙（注意事項記載）1枚です。
- 2 解答用紙の所定の欄に、必ず受験番号・氏名を記入してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。下書き用紙に解答を記入しても、採点の対象とはしません。また、解答用紙の「得点欄」には何も記入しないでください。
- 4 問題用紙・解答用紙に印刷不鮮明や汚れ等がある場合は、無言のまま手をあげて、監督員の指示に従ってください。
- 5 試験中に質問や用便等の用件がある場合も、無言のまま手をあげて監督員の指示に従ってください。
- 6 試験開始後、30分間は途中退室を認めません。
30分経過後、途中退室する場合は、監督員の指示に従い、解答用紙を監督員に提出したのち退室してください。
- 7 問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。
- 8 不正行為や、他の受験者に迷惑となる行為を行った場合は、失格とすることがあります。